

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

レビュー項目 (事業名)	新規就農者等の初期投資支援策の適正化 (経営発展支援事業)				部(局)	農林水産部		
					所管課	農業経営課		
					担当班	担い手対策班		
					連絡先	078-362-3406 (内線3961)		
開始年度	令和4年度	終了年度	—	関連計画等				
事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国補助事業 <input type="checkbox"/> 県単独事業							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()				実施主体等	市町		
事業目的	次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農後の経営発展のために必要な機械・施設の導入等の取組を支援							
事業概要	○実施主体 市町 ○対象者 就農時の年齢が、原則49歳以下の認定新規就農者(就農から1~2年目に限る) ○対象経費 機械・施設、家畜導入、果樹・茶の新植・改植、機械等リース料等の初期投資的な経費※ ○補助率等 補助率3/4(国2:県1:農業者1) ○補助上限 7,500千円							
これまでの改善状況	[R5年度] 補助事業実施年度の前年度に農業経営を開始した者も交付対象に拡充 (令和4年度は、補助事業実施年度中に農業経営を開始した者が交付対象)							
業務フロー	①計画申請(県)⇒②計画承認(国)⇒③計画申請(市町)⇒④計画承認(県)⇒⑤交付申請(市町) ⇒⑥事業着手(市町)⇒⑦実績報告(市町)⇒⑧補助金交付(県)							
事業に要するコスト	区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額		
	事業費①				42,000千円	142,800千円		
	経費内訳	報酬・賃金						
		委託料						
		補助金・交付金			42,000千円	142,800千円		
		貸付金						
		その他						
	(財源内訳)	(国庫)			(28,000千円)	(95,200千円)		
		(特定)						
		(起債)						
		(一般財源)			(14,000千円)	(47,600千円)		
	予算額②							
	※精算補正前の予算を記載							
	執行率((①/②)×100)				--		--	
	人件費③(a+b+c)				8,619千円	8,619千円		
職員給与費 a				7,510千円	7,496千円			
賞与引当金繰入額 b				580千円	572千円			
退職手当引当金繰入額 c				529千円	551千円			
総コスト(①+③)				50,619千円	151,419千円			

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

評	指標名	区 分	2年度 実績	3年度 実績	4年度 見込	5年度 目標	最終目標 【年度】
	価	成果指標(アウトカム指標①) 新規就農者数(人) (R2年度まで:65歳未満、 R3年度以降:50歳未満対象 (ひょうご農林水産ビジョン2030))	目 標	400	300	300	300
実績(見込)			299	268	(270)	(300)	【R12年度】
(単位当たりコスト)			(0千円)	(0千円)	(187千円)	(505千円)	
達成率(見込)			74.8%	89.3%	(90.0%)	(100.0%)	
成果指標(アウトカム指標②) 65歳未満の新規就農者の定着率(%) (就農年度の3年後の状況)		目 標	80	80	80	80	-
		実績(見込)	76.7	77.4	(78)	(80)	
		(単位当たりコスト)	(0千円)	(0千円)	(649千円)	(1,893千円)	
成果指標(アウトカム指標③)		目 標	-	-	-	-	-
		実績(見込)	-	-	-	-	-
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	-
		達成率(見込)	-	-	-	-	-
指		活動指標(アウトプット指標①) 事業を利用した農業者数(人)	目 標	-	-	30	30
	実績(見込)		-	-	(34)	(30)	
	(単位当たりコスト)		-	-	(1,489千円)	(5,047千円)	
	達成率(見込)		-	-	(113.3%)	(100.0%)	
	活動指標(アウトプット指標②)	目 標	-	-	-	-	-
		実績(見込)	-	-	-	-	-
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	-
	活動指標(アウトプット指標③)	目 標	-	-	-	-	-
		実績(見込)	-	-	-	-	-
		(単位当たりコスト)	-	-	-	-	-
		達成率(見込)	-	-	-	-	-
	標	終期設定	有 ()				
改善基準							
自	評価の視点	評価					目標に対する達成状況(総合的評価)
	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など	○補助率が最大3/4である他、県の農業施設貸与事業での補助対象外経費(水稲用機械・家畜導入等)も対象で、初期投資負担軽減効果が高い ○県民ニーズも高く、事業初年度から多数応募					○施設・機械等の初期投資負担を大きく軽減することなどにより、新規就農者数や定着率の目標達成度は向上 ○本事業活用者数の目標も事業初年度から達成見込みであり、就農・定着に寄与
己	○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など	○計画書作成段階での県などの関係機関の指導による事業規模の適正化と利用者の応分負担により、効果的・効率的な執行を推進 ○事業目的達成のため、適時に事業対象者等の見直しを実施					
	課題・今後の方向性 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
評	説明 ①本事業の創設時、事業内容の類似する県単独事業(農業施設貸与事業)の対象者の棲み分けは行ったが事業のねらいやターゲット設定の見直しは未実施であること、②本事業の補助対象事業費上限が低く大規模施設等の導入ニーズを拾いきれないという課題があることから、両事業の役割分担の明確化に向け、それぞれが担うべき支援対象の整理を実施						
	外部委員会意見	・新規就農者を増やすには、施設貸与事業は有効と考えられる。 ・いかに農業を継続させるかが重要である。農業施設貸与事業を利用した新規就農者で農業を継続している人の割合をアウトカム指標とし、100%を目指すこととしてはどうか。 ・農業施設貸与事業を利用した農業者が安定的に農業経営出来ているのかをモニタリングすべき。事業利用者がどれだけ所得を得られているのかをアウトカム指標として入れてはどうか。 ・また、モニタリングの結果、成功している事例は横展開すべき。 ・農業施設貸与事業と国費の経営発展支援事業の棲み分けについて、重複部分を残す場合でも、あえて残すなど戦略的な制度設計をされたい。					
改善結果							
国事業である本事業については、要件変更等ができないため県事業の農業施設貸与事業の要件等を見直すことで棲み分けを行う。							